

ぐるっと東北

苦楽共にした仲間が財産

スーパー「マイヤ」会長 米谷春夫さん =1965年度卒

母校を
たずねる

岩手高 ⑤

米谷春夫さん(71)は1965年度卒。県内の沿岸部を中心に18店を展開するスーパーマーケット「マイヤ」の会長です。東日本大震災直後から営業を再開し、地域の食のライフラインを守りました。県内各地から集まっていた岩手高時代の同窓生は「今でもつながり続ける一生ものの財産だ」と話しています。【三瓶杜朗】

気仙地方には、商家の子ど 校3年の時には全体で9番ま もを遠くへ修業に出す風習が で成績が上がりました。

ありました。実家が商店たっ 部活はソフトテニスを中学 たので、私も小学生の頃から 2年から高校2年まで続けま 「中学からは外の学校に行け」 と言われていました。盛岡に 仲間とつくった野球同好会 あった岩手師範学校に通って いて父の勤めもあって岩手中 学校で、朝に野球をしたり、警察 に進学し、そのまま中高一貫 学校でグラウンドで試合をし たので女々々気はゼロでした。

同級生は県内各地から集ま った優秀な生徒ばかりで、中 野球で思い出すのが応援団 学入学当初の成績は158人 です。パンカラな校風だった 中103番でした。こんなに 在で、応援歌の練習中、声が クでした。高校進学時のク ラス分けは成績順でしたが、 一番いいA組に入れませんが ました。高校3年の時、なん と自分がその応援団に入っ ました。応援団はクラスから 推薦で選ばれます。当時はク ラスの中でも成績のいい人が 選ばれることが多かったのだ

です。同級生の高橋克彦さんにも「俺たちの代で一番真面目だったのは米谷だ」と言われます。優等生タイプだった、と今では思います。声は大きくなかったけれど、当時からスポーツが盛んな学校だったので、豪華チームの応援をしたのが思い出です。

勉学の合間に一緒に日活の映画を見に行ったり、野球したりしていた仲間には宝物です。6年間濃厚な付き合いをしたおかげで、今でも年に1度は会って本音を言い合います。東日本大震災で陸前高田の自宅も店舗も流され、今着

まいや・はるお 1947年気仙町(現陸前高田市)生まれ。青山学院 大法学部卒業。三重県のスーパーで 3年間働いた後、父淳さんが創業 したマイヤの前身「主婦の店大船渡 店」に入社した。91年に社長、2018 年から会長。陸前高田青年会議所理 事長などを歴任。大船渡商工会議所 副会長も務める。



大船渡市盛町のマイヤ本部

卒業生「私の思い出」募集

岩手高卒業生のみなさんの「私の思い出」を募集します。300字程度で学校生活や恩師、友人との思い出、またその後の人生に与えた影響などをお書きください。卒業年度、氏名、生年月日、職業、電話番号、あればメールアドレスを明記のうえ、〒100-8051、毎日新聞地方部「母校」係(住所不要)へ。メールの場合は shuto@mainichi.co.jp へ。いただいた「思い出」は紙面や、毎日新聞ニュースサイトで紹介することがあります。

歴史刻んだ学校図書館

つくるのは必要です。仲間になるには、苦楽を共にしないといけません。後輩たちには、県内全域から集まってくる同級生との出会いを大切に交遊を深めてほしいと思います。

岩手高には歴史を刻んだ図書館がある。鉄筋コンクリート2階建てで、1954年9月に開館した。当時、高校が図書室ではなく図書館を持つ例は珍しかった。石椋70年誌によると、生徒たちは、近代的な設備としての機能を果たし続けている。

77年4月、木造2階建ての旧校舎で火災が起き、延べ約4800平方メートルのうち、3400平方メートルが焼けた。焼失を免れた図書館や講堂などで、火災発生4日後には授業を再開した。翌年8月に新校舎が完成し、当時の遠藤貴中校長は「この新しい校舎に魂を吹き込むのは君たちだ」と全校生徒に訓示した。【滝沢修】



岩手高校の図書館(盛岡市長田町)

(毎週金曜日に掲載)